

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		国際教養学科		
科目名称	グローバリゼーションと労働						授業形態	講義		
科目コード	534106	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験担当教員			Active・L	○
担当教員名	呉 海鍾							ICT活用	○	
授業概要	近年グローバリゼーションの進展により、国家間、都市間の物的距離や社会的・制度的な距離が飛躍的に近接化している。それによって、経済、環境、労働などの様々な事象に大きな影響を与えている。 上述したことを踏まえ、本授業では、まずグローバリゼーションが様々な事象についてどのような影響を与えているのかについてそれぞれのテーマを取り上げることで、グローバリゼーションの特質等について見ていく。授業の後半部分では、グローバリゼーションの進展と「労働」との関係に焦点を当てて見ていくことで、その影響と課題について見ていく。									
関連する科目	社会学、社会学概論、現代社会論、地域貢献プロジェクト									
授業の方法と進め方	授業は、講義とアクティブラーニング参加型を組み合わせた全15回の構成であり、学生には毎回の授業終了後に課題レポートや小テストなどを提出するよう求め、学習の定着とフィードバックを促進する。さらに、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを通じて、学生がトピックをより深く理解し、自己の意見を発展させる機会を提供する。トピックと関連する文献や資料を活用し、学生が自主的に学習できるようサポートする。また、学期末最終課題レポートや発表テストを通じて、学生の学習状況を総合的に評価する。 毎回の授業では、教員がPCを活用してデジタル版の資料を提供し、学生の学習状況を確認するためにユニバーサルパスポートを活用する。さらに、学生はICTを使って調査し、事前に予習を行った上で授業に参加する。そして、グループワークやディスカッション、プレゼンテーション授業ではパワーポイント（PPT）を使ったKJ法などを用いたアクティブラーニングを実施する。									
第1回	オリエンテーション：授業概要（進め方、目的、到達目標、評価方法等の説明）									
第2回	グローバリゼーションとは何か？： ・グローバリゼーションの概念や諸側面について考察し、その意義や影響について議論し、その結果をミニレポートにまとめる。									
第3回	グローバリゼーションと多国籍企業①「あなたの洋服の真実」： ・「ファッション」を例に挙げ、多国籍企業の存在や影響について議論する。 ・その結果をミニレポートにまとめる。									
第4回	グローバリゼーションと多国籍企業②「あなたの洋服の真実」： ・「ファッション」を通じて多国籍企業の側面に焦点を当て、議論を深める。 ・その結果をミニレポートにまとめる。									
第5回	グローバリゼーションと多国籍企業③： ・多国籍企業のメリットやデメリット、フェアトレードなどについて検討する。 ・KJ法を用いてまとめてミニレポートを作成する。									
第6回	グローバリゼーションと環境① 環境問題と不都合な真実、「不都合な真実」： ・環境問題に関する事例をもとに、グローバリゼーションと環境の関係について議論する。 ・その結果をミニレポートにまとめる。									
第7回	グローバリゼーションと環境② 環境問題と不都合な真実、「不都合な真実」： ・「不都合な真実」を例に挙げ、環境問題におけるグローバリゼーションの影響を考察する。 ・その結果をミニレポートにまとめる。									
第8回	グローバリゼーションと健康 「新型コロナウイルス感染症」： ・「新型コロナウイルス感染症」を例に取り上げ、健康とグローバリゼーションの関連性について考察する。 ・その結果をミニレポートにまとめる。									
第9回	グローバリゼーションと外国人労働者と難民： ・外国人労働者や難民の問題について議論する。 ・KJ法を用いてまとめてミニレポートを作成する。									
第10回	グローバリゼーションと技能実習制度①： ・日本の技能実習制度に焦点を当て、その仕組みや現状と課題について考察する。 ・その結果をミニレポートにまとめる。									
第11回	グローバリゼーションと技能実習制度② 技能実習制度の運用と実態の事例紹介： ・日本の技能実習制度と他国の比較（技能実習生の労働条件と人権問題） ・課題: 技能実習制度に関する政策提言や改善案のプレゼンテーションを行う。									

第12回	グローバリゼーションについてあなたは賛成・反対？①「幸せの経済学」： ・「幸せの経済学」をもとに、グローバリゼーションに対する意見を探る。 ・その結果をミニレポートにまとめる。
第13回	グローバリゼーションについてあなたは賛成・反対？①「幸せの経済学」： ・「幸せの経済学」を参考にして、グローバリゼーションへの立場を明確にする。 ・KJ法を用いてまとめてミニレポートを作成する。
第14回	課題発表① ・各テーマに関する課題を発表し、教員や他の学生からフィードバックを受ける。
第15回	課題発表② ・残りの学生が各テーマに関する課題を発表し、全体を振り返る。
授業の達成目標	・グローバリゼーションに関する基礎的な知識を身につける。 ・グローバリゼーションが経済、労働、環境等に与える影響などについて理解できる。 ・グローバリゼーションという事象を多面的に捉える視野を養う。 《到達目標：学士力》において、汎用的技能の観点では、グローバリゼーションの影響を多角的に理解し、問題解決能力を高める。また、統合的な学習経験と創造的思考力の側面では、多様な視点から事象を捉える力を養い、柔軟性を持ち、異なる意見に対する尊重を培う。
学修成果との関連	5.地域社会に貢献する意欲を有する。
授業時間外学習【予習】	・毎週の授業のテーマに関連する事項について、書籍や論文、またはインターネットなどを利用して調査し、関連情報を収集してから授業に臨む。（1 時間程度）
授業時間外学【復習】	復習は毎週必ず1時間程度行い、次の授業で前回の内容をしっかりと理解しておくようにする。
課題に対するフィードバック	課題などのフィードバックに関しては、授業毎に適宜行う。
評価方法・基準	授業への参加度、小テスト・ミニレポート、グループワーク等（50%）、②期末課題レポートと発表（50%）で算出する。
テキスト	本授業は、テキストを使用せず、適宜関係資料の配布、スライド、ビデオなどを使用しながら進めていく。
参考書	適宜授業で紹介する。
備考	